

北海道静内農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和3年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1) アグリマイスター顕彰制度を推奨し、農業教育の質の向上を図る。 (2) 教科内プロジェクト学習を取り入れ、プロジェクト学習法の確実な定着とプレゼンテーション能力の向上を図る。	A	(1) 教科、分掌間で連携し、各種資格合格率の向上に向けた学習支援を行う。 (2) 1科目1プロジェクトを実践しポスター発表会による相互学習を指導する。
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1) ASIAGAP認証を受けた生産管理工程の学習を継続し、グローバルな視点から農業生産を分析する能力を高める。 (2) 統計結果などを積極的に活用し、世界や日本の農業実態をより深く理解する学習機会の増加を図る。	A	(1) ASIAGAP認証を受けた生産管理工程の実施と掲示教育の徹底。 (2) 各科目やプロジェクト学習において統計情報の理解に積極的に取り組む。
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1) マイスターハイスクール事業をとおりて高度な専門性や実践力を養う学習を推進する。 (2) 地域で栽培・飼育されている題材を取り入れた学校農場経営を実践し、地域の担い手や地域農業を支える人材を育てる。	B	(1) 軽種馬生産と作物栽培においてより高度な知識を持つ専門家の指導を仰ぎ、学習の質の向上を図る。 (2) 地域の農家と連携し、気候・環境に適した栽培技術の研究に取り組む。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1) マイスターハイスクール事業をとおりて高度な専門性や実践力を養う学習を推進する。 (2) 栽培・飼育・加工・販売・活用の学習をとおりて6次産業化に対応した人材を育てる。	B	(1) 商品開発や流通の学習においてより高度な知識を持つ専門家の指導を仰ぎ、学習の質の向上を図る。 (2) フードシステムの学習と専門機関との連携をとおりて関連産業への進路選択を積極的に働きかける。
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1) 本校に隣接する二十間道路桜並木をとおりて環境保全について考え、地球環境を守る人材を育てる。 (2) 資源循環バイオ実習室の有効活用をとおりて環境負荷の少ない有畜農業を推進する。	A	(1) 二十間道路桜並木の清掃保全活動に取り組み地域資源の保全、美化に努める。 (2) 家畜排泄物を有用資源として活用し、炭素を土壌に還元することで低炭素社会の実現に寄与する。
	⑥「食農」教育を推進します。	『食農』の重要性・持続性について学ぶとともに、地域関係諸団体との交流の機会を設け、『食農』への興味・関心を高める。	A	小学校との交流学习や新ひだか町との連携事業を通し、『食農』について発信する機会を創出する。
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	基幹産業、観光資源を活用した学習を展開し、地域の活性化に寄与する人材を育成を図る。	A	軽種馬産業、施設園芸、観光資源である桜等を題材とし、各研究班が地域課題の解決にプロジェクト学習活動をとおりて取り組む。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1) 家畜や栽培作物を活用した交流学习に積極的に取り組み、関係諸団体との連携を深める。	A	(1) 小学校等との交流事業や販売会等を積極的に行い、地域との交流を深める。
V 地域防災を推進する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1) 町内外の関係機関と継続的に連携し、より高度で実践的な学習活動を推進する。	B	(1) 『農業インターンシップ』『デュアル派遣実習』をとおりてより実践的な農業学習を推進する。 (2) マイスターハイスクール事業をとおりてより幅広く、専門的な視点から農業学習を深める機会を創出する。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	胆振東部地震を教訓に防災意識を常に持ち、自助、共助、公助連携し、『命を守る』意識を高める。	A	災害発生を意識した防災避難訓練を行うとともに、適切な行動を自発的にとれる態度を養う。